

8/28 戦没者追悼式で遺族ら献花 犠牲者の冥福を祈り恒久平和誓う

雫石町戦没者追悼式が中央公民館で開催され、遺族や関係者ら約 80 人が参列しました。

遺族を代表して町遺族連合会会長の藤村博志^{ひろし}さん(上町二)が「世界では今なお戦争が絶えず、多くの戦争犠牲者が出ており、1 日も早く平和が実現することを祈るばかりです。私たち遺族は、戦争の悲惨さと平和の大切さを今こそ語り継いでいかなければなりません」と誓いました。



▲献花し戦没者の冥福を祈る遺族ら



▲堤防の決壊を防止する月の輪工法の訓練

8/30 北上川上流盛岡地区合同水防演習 近隣6市町の水防団員らが技術を磨く

2026 年度北上川上流盛岡地区合同水防演習が旧上長山小学校で行われました。訓練には本町のほか、矢巾町、紫波町、岩手町、滝沢市および盛岡市の水防団員ら約 150 人が参加。参加者は、災害に備え、万全の体制で活動できるよう真剣な面持ちで訓練に当たり、大雨などによる河川の増水を想定した「積み土のう工法」や「月の輪工法」などの水防技術を学びました。

9/3 西山小学校でクマ出没マップ作成 児童らがクマの生態や対処を学ぶ

西山小学校(西野悟^{さとし}校長、児童数 110 人)の3年生 17人が、総合的な学習でクマ出没マップを作りました。

町鳥獣被害対策実施隊の隊員が講師を務め、クマの生態やクマと出会わないための方法、出会ってしまったときの対処などを学んだ後、クマ出没マップを作成。児童は「自分の身近にも危ないところがあるとわかりました。これからは気をつけて歩きたいです」とクマ対策への意識を高めていました。



▲地域の地図を見てクマ出没箇所を確認



▲避難所用テントの組み立て方を確認する参加者

9/6 2026年度町総合防災訓練 実際の災害対応を疑似体験

2026 年度町総合防災訓練が町営体育館などを会場に開催。消防や自衛隊などのほか、御所地区の自主防災組織や御所小学校の児童・教職員らも参加し、町関係機関や医師会、学校や地域が連携した訓練となりました。

今回は、訓練の柱として避難所開設・運営訓練を実施。けがや病人などの多様な背景を持つ住民が避難してきた避難所の運営を疑似体験し、災害時の活動への理解を深めました。

9/10

御所小学校児童が鶯宿温泉を散策 ウォークラリーで鶯宿温泉の昔と今を知る

御所小学校(高橋雄賢校長、児童数73人)の3年生14人が鶯宿温泉を訪問。地域を学ぶふるさと遠足として、御所地区の民生委員と一緒にウォークラリーを楽しみました。児童らは昔の写真を手がかりに温泉内を探索。チェックポイントを見つけ出し、現在の様子を写真に収めました。見つけにくいポイントもありましたが、民生委員や地元住民の協力で最後まで元気に鶯宿温泉内の散策を楽しみました。



▲民生委員さんと協力してチェックポイント探し



▲ご家族と一緒に満100歳を祝った上小林さん(中央)

9/11

上小林トミさん、岩井光さんのお二人が めでたく満100歳

上小林トミさん(1926年8月16日生まれ)が、めでたく満100歳の誕生日を迎え、はーとぽーと雫石で百賀の祝いが開かれ、ご家族と一緒に満100歳を祝いました。

上小林さんは小松行政区出身。若い頃は温泉で仲居として働き、結婚後は町内で寿司店を営まれており、とても明るい性格で近所の人たちに慕われ、毎日を楽しく過ごされてきました。また民謡と歌が好きで、よっしゃ祭で踊ることをいつも楽しみにされていたそうです。

また岩井光さん(1926年8月13日生まれ)も、めでたく100歳の誕生日を迎えられました。特別養護老人ホーム千年苑で百賀の祝いが開かれ、ご家族や入所者の皆さんが見守る中、猿子町長から祝い金と花束が贈られました。

岩井さんは長年にわたって家業の農業に携われ、体力には自信があり、公葬地への急な坂をものともせずにお墓参りをしていたそうです。80歳を超えて「100歳まで生きるぞ」と宣言されており、有言実行されました。

猿子町長は「先人の皆さまのおかげで今の雫石町があります。これからも元気で過ごしてください」と感謝しました。



▲猿子町長から花束を贈呈される岩井さん

8/29



BikeJIN 祭り 2026 @岩手・雫石が開催。休暇村岩手網張温泉に各地からたくさんのライダーが集結しました。

8/24



NPO法人しずくいし(高橋憲功理事長)が7月11日に開催したチャリティーショーの収益金の一部を、町を通じ町社会福祉協議会へ寄付しました。

8/11



台風15号が東日本に上陸。暴風警報が発令され安全を確保するため、第56回雫石よっしゃ祭は中止となりました。(写真は昨年の様子)

RUN! あねっこバス!



町を走るあねっこバス。その運転席には、いつも頼もしいドライバーさんがいます。そんなドライバーさんたちの人柄やエピソードを、4コマ漫画とともにご紹介していきます。2カ月に1回、全6回(予定)。どうぞお付き合ってください!

山野草クラブ、はじめました



※このイラストは生成 AI により作成しています。

【予約】

問 予約センター ☎ 692-6323

○ 受付時間

平 日 ▶ 8 時～17 時

土 日 祝 ▶ 8 時～16 時

【その他のお問い合わせ先】

問 NPO 法人しずくしい・いきいき暮らしネットワーク ☎ 691-1800



路線図・時刻表



便利な LINE 予約はこちら(町民限定)

【あねっこバス出張説明会実施中!】

お気軽にお問い合わせください。問 総合政策課 ☎ 692-6409

あとがき

●本紙の中にも掲載してありますが、BikeJIN 祭りのイベントに取材に行きました。全くバイクに興味がなかった私ですが、実際に現地に行って取材してみると、プロのライダーやバイクがびっくりするほどカッコ良く、バイクに対する印象が変わりました。来年も開催があれば、皆さんも是非いらしてください。(横)

●今年の夏はプールや花火、バーベキューといった夏らしいことを何もしないまま、気が付けば10月を迎えてしまいました。秋には紅葉やおいしい食べ物など楽しみがたくさんあるので、夏にできなかった分まで、秋らしいことは楽しみたいと思っています。皆さんも身近な秋をお楽しみください。(高)

栗石町公式エックス▶ @shizukukouhou
防災行政無線が聞き取れなかったときは…
電話応答サービス▶ ☎ 019-692-6371 をご利用ください。

土偶

町歴史民俗資料館の収蔵品をご紹介します!



遮光器土偶(桜沼遺跡出土)

問 町歴史民俗資料館

入館料 大人 150 円

(高校生以下無料)

開館時間 9 時～16 時

休館日 木曜日定休

☎ 692-3942

土偶といえば、「宇宙人?」といわれた遮光器土偶が有名ですね。土偶は主に縄文時代に作られた素焼きの人形で、形も時代や地域によって様々ですが、多くは女性や精霊を象った形をしていると考えられています。町内の縄文遺跡からも多数出土していますが、壊れた状態で見つかることが多く、呪術・祈禱の道具、豊穡・安産の祈願など、用途には諸説あります。10月9日は「土偶の日」。これを機会に縄文文化に触れてみてはいかがでしょうか。



栗石の情報発信番組 虹の似合うまち栗石町情報 放送予定日のお知らせ

10月16日、11月6日、11月20日(毎月第1・3金曜日) / IBC ラジオ (AM 684kHz) / 8時45分～50分(5分間)